



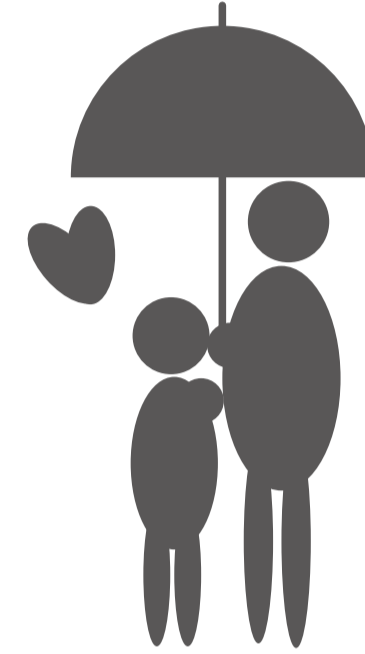
+33CM(プラス 33 センチメートル) は、身長差がある親子がどちらも濡れないで一緒に入ることができる傘です。普通の傘のサイズからワンタッチで傘を拡張し、雨を避けることができます。

GRAND THEME - あまい -

「甘い」から、「相合傘」「親子関係」を連想しました。

「相合傘」...

寄り添い、2人だけの甘い時間を過ごすことができる



「親子関係」...

無償に愛情が生まれる関係

PROBLEM

雨の日にひとつの傘に入ろうとすると...



子ども(低身長側)が濡れてしまう



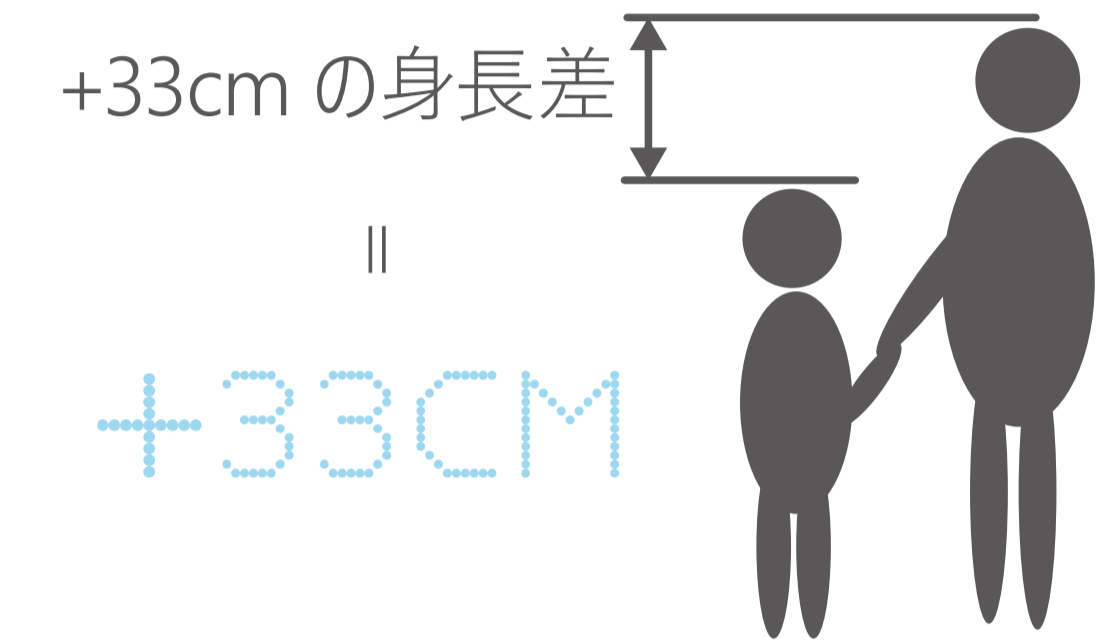
子ども(低身長側)に合わせると親が濡れてしまう



別々の傘では2人の距離が離れてしまう

MEANING

+33cm 以上身長差が合っても濡れないような傘



SOLUTION

① 内蔵された骨と傘地を手動で引き出すことで傘が下向きに拡張。身長差があっても、屋根になって濡れません。



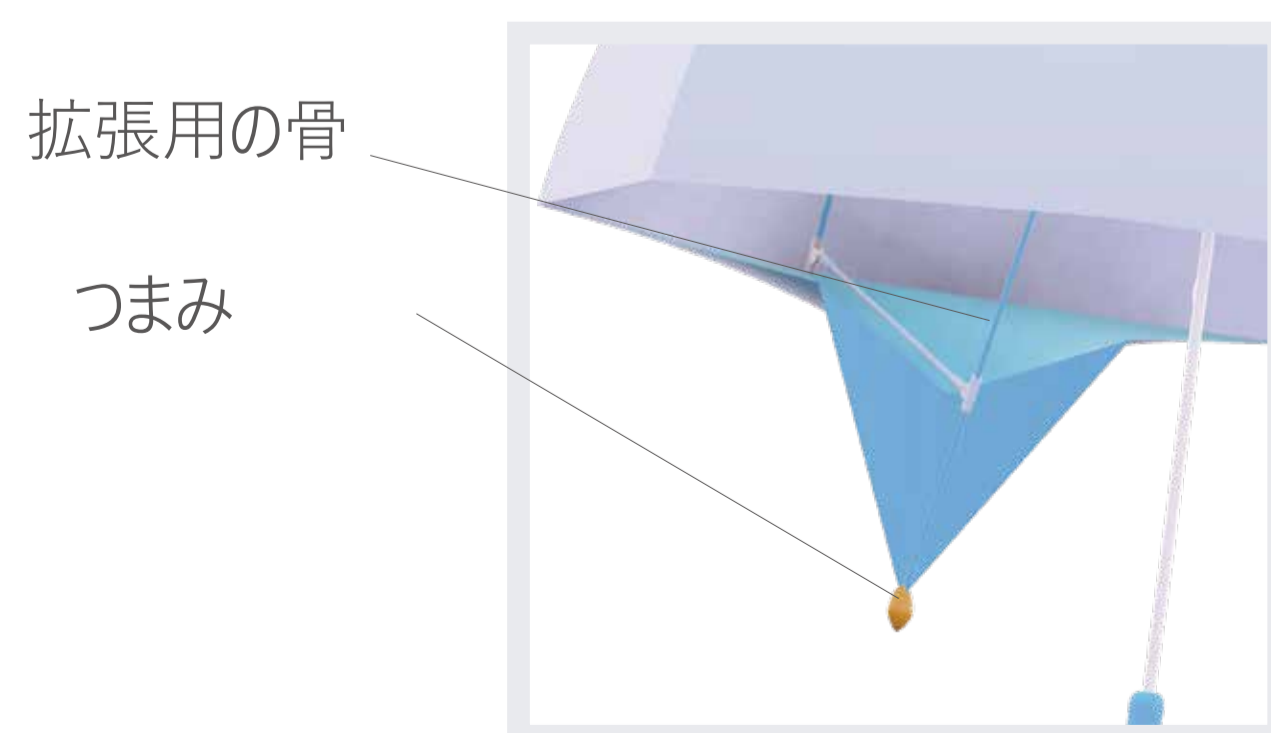
② 手をつなぐ代わりになる? 手元に節がふたつあり、親子で持てるように。2人の手がくっつくような寸法にしています。



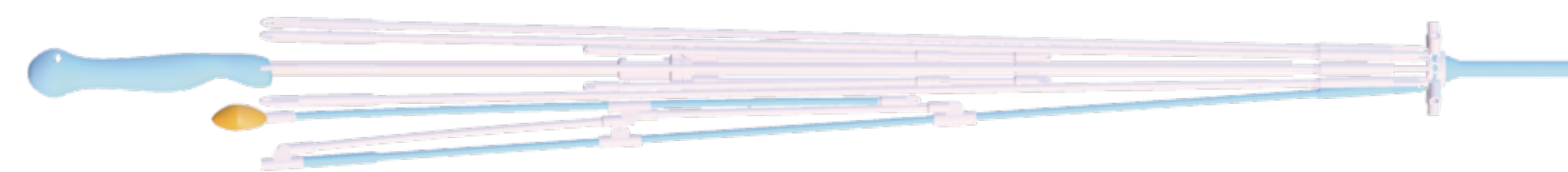
③ 子どもが傘の中に入れてくれるような工夫。つまみにはキーチェーンを通せる穴があります。



●●(のストラップ)より中にいようね、と安全の声かけに



④ 普通の傘のようにとじることができます。



指かけ、フックかけ用のストラップを通せる穴

